

Introduction

～ まちの人紹介 ～



↑ (左から) 横浜さん、佐々木さん

雄武長寿短歌会

佐々木 トミさん、横浜 正芳さん

今回、まちの人紹介の取材に応じてくれたのは、雄武長寿短歌会に所属する佐々木トミさん、横浜正芳さんです。

お二人は、札幌市で9月19日から23日まで行われた、北海道在住の60歳以上のアマチュアの人が創作した絵画や彫刻、短歌や川柳などの作品を募集する第35回全道シルバー作品展において、全道181作品の中から最高齢の入選者に贈られる『かでる賞（最高年齢者特別賞）』を受賞されました。

雄武長寿短歌会は、平成22年7月に発足し、お二人とも発足当初から加入。佐々木さんは町中の景色などを題材にした詩、横浜さんは四季折々の様子や自身の畑などを題材にした詩を書かれているそうです。

受賞の知らせを聞いたときは驚いたが、みんな喜んでくれたといいます。

短歌を始めたきっかけについて聞くと、佐々木さんは「元々は詩吟を習っていて、当時の詩吟の先生から短歌会を立ち上げるときに誘われて始めました。長寿クラブや短歌会の活動に行くのが楽しみなので、仲間たちと会えるよう元気に過ごしていきたいです」、横浜さんは「短歌に興味があったのと、自身の認知症予防のためにと始めました。町中の景色などを見て自分の詩を作るのが楽しくて、気持ちが若返るようです。病気を患ってしまいましたが、それに負けず、元氣なうちは短歌を続けていきたいです」と話してくれました。



雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼秋を通り越して冬の気配をひしひしとを感じる時季になり、夜も冷え込んできましたね。私は暖かく快適に寝られるように「敷き布団→毛布→体→掛け布団→毛布」の順番に重ねて寝ています。毛布や布団は、重ねる順番で暖かさが変わりますので、ぜひ試してみてください。（松井）